

みえの土地改良

発行所 ● 三重県土地改良事業団体連合会 ● 津市広明町330 TEL059-226-4824



みどり
水土里ネット

夢ある農村づくり

みどり
水土里ネット みえ

就任のご挨拶 東海農政局農村振興部 部長 杉山一弘	2
就任のご挨拶 三重県農村水産部 部長 中野敦子	3
三重県土地改良事業団体連合会第66回通常総会 開催	4
全国水土里ネット第65回通常総会 開催	7
全国水土里ネット表彰式 開催	8
三重の土地改良アラカルト	9
多面的機能支払（農地・水・環境保全向上対策）の紹介	10
こちら「ため池保全サポートセンターみえ」です	12
新たな農業への取り組み事例	13
水土里ネットみえの広場	14
事務局だより	15
本会職員採用試験案内	16



就任のご挨拶



東海農政局 農村振興部 部長 杉山 一弘

水土里ネットみえ会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本年4月より東海農政局農村振興部長を勤めております杉山と申します。農業農村整備事業をはじめとする農村振興施策の推進に尽力してまいりますので、御指導と御鞭撻をお願い申し上げます。

会員の皆様には、日頃より農業農村整備事業の推進並びに農村地域の振興に多大なる御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

はじめに、明治用水頭首工において発生した漏水事故につきまして、土地改良施設を管理している皆様におかれましては、多大な御心配をおかけしました。本年度は、左岸側に大型土のう等を再設置し、水位を上昇させることで、自然取水により取水を行っている状況です。明治用水頭首工の機能復旧に向けては、有識者委員会により事故原因の分析等を進め、3月に中間取りまとめが行われました。今秋から、抜本的な復旧対策を実施してまいります。

今般、我が国の食料・農林水産業は大規模自然災害・地球温暖化、生産者の減少等生産基盤の脆弱化・地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化などの課題に直面しており、また、ロシアによるウクライナ侵攻の影響等により、原油高や世界的な天候不順などによる食料品価格の値上がりが続いています。安心で安全な食料の安定供給への要望はより高まっており、将来にわたって食料の安定供給を図るためには、災害や温暖化に強く、生産者の減少やポストコロナも見据えた農林水産行政を推進していく必要があります。

このような諸課題に対応していくため、農林水産省では、20年ぶりに食料・農業・農村基本法を見直すべく、昨年9月から政策の総合的な検証・見直しを開始し、国内外の食料生産・消費・貿易の状況変化による動向を踏まえつつ、可能な限り国内生産することで危機に強い食料供給体制の確立に向けた構造転換を進める方向で検討を進めています。あわせて、2021年に策定した、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーション（技術革新）で実現する「みどりの食料システム戦略」を推進しているところです。今後は本戦略に基づいて、様々な施策を推進してまいりますので、御理解・御協力をお願いします。

また、農業農村整備事業関係予算につきましては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」、「総合的なTPP等関連政策大綱」及び「食料安全保障対策」として令和4年度補正予算に計上され、令和5年度当初予算とあわせて、総額6,134億円が計上されました。これもひとえに、皆様方の御支援の賜と深く感謝する次第です。

東海農政局と致しましても、予算の効果的・効率的な執行を通じ、管内の農業農村整備事業の円滑な推進を図り、農業生産性の向上や農業の競争力強化、国土強靱化と安全・安心で豊かな農村作りを推進してまいります。

三重県下においては東海農政局が実施している中勢用水地区をはじめ各種補助事業について所要の予算額が確保されたところです。農政局と致しましては措置された予算を適正かつ着実に執行し、その効果をできるだけ早く発現させるべく尽力するとともに、農業農村整備の必要性や効果についても実感していただけるよう広く発信してまいります。なお、中勢用水地区については本年度完了を予定しております。年度工期内にしっかり完了できるよう実施してまいります。

結びに、三重県の農業農村の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

「食料・農業・農村基本法」WEB アドレス <https://www.maff.go.jp/j/basiclaw/>

「みどりの食料システム戦略」WEB アドレス <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyoseisaku/midori/index.html>

就任のご挨拶



三重県農林水産部 部長 中野 敦子

会員の皆さまにおかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、三重県の農林水産行政の推進、とりわけ農業農村の振興に多大なるご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年4月より農林水産部長を拝命いたしました中野敦子でございます。微力ではございますが、農林水産業の発展に全力を尽くす所存でございますので、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

人々の健康や生活を脅かしてきた新型コロナウイルス感染症につきましては、5月8日から感染症法上の位置づけが5類に変更となりました。今後は、皆さまの地域における活動が一層活発になり、農業農村の振興に対するさらなる気運醸成につながることを期待しています。

さて、国においては、継続的に講ずべき食料安全保障の強化のために必要な対策とその目標を明らかにするため、「食料安全保障強化政策大綱」が令和4年12月27日に食料安定供給・農林水産業基盤強化本部により決定されました。

この大綱では、新しい資本主義のもと、食料安全保障強化のための対策に加え、スマート農林水産業等による成長産業化、農林水産物・食品の輸出促進、農林水産業のグリーン化の実現に向けた主要施策を取りまとめています。また、「食料・農業・農村基本法」についても、生産者の減少・高齢化、人口減少下における国内市場の縮小など、我が国の農業が厳しい状況に置かれていることを踏まえ、現在、検証・見直しに向けた議論が行われています。

県におきましても、国の土地改良長期計画をはじめとする施策を踏まえて三重県農業農村整備計画を策定しており、このなかでは、持続的な農業の発展に向け、農地の大区画化の推進やICT等の省力化技術の導入などによるスマート農業に適した生産基盤の整備を進めるとともに、防災の日常化の定着等に向け、ハザードマップを活用した防災訓練等の適切な避難行動につなげるソフト対策や、ため池・排水機場の耐震化対策等のハード対策により、ソフト・ハードの両面から総合的かつ効果的な防災・減災対策を進めることとしています。

また、持続的な農村振興に向け、中山間地域等の多様なニーズに応じた農業生産基盤と農村生活環境の整備を総合的に推進するとともに、多面的機能の維持・発揮に向けた取組を進めることとしています。

さらに、農山漁村地域では、農林漁業者の減少や高齢化がより一層著しいことから、豊かな自然、農林水産物、歴史・文化など農山漁村の地域資源を生かした、しごとづくりのための人材育成や「食」、「泊」、「体験」を組み合わせた交流の促進に取り組んでまいります。

こうした取組を着実に実施していくためには、会員の皆さまのご協力が不可欠であると考えておりますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、水土里ネットみえの益々のご発展と会員の皆さまのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。

三重県土地改良事業団体連合会 第66回通常総会が開催されました



開会挨拶をする末松会長



廣田三重県副知事による祝辞



寺尾東海農政局農村振興部長による祝辞



土地改良功労者表彰を受賞された皆さん

水土里ネットみえは、第66回通常総会を去る3月22日（木）午後1時30分より津市の「ホテルグリーンパーク津6階伊勢の間」で開催しました。

昨年までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小した形での開催でありましたが、今年は、新規感染者数が大幅に減少している状況等から通常の形での開催となりました。

総会には、来賓として、廣田恵子三重県副知事、寺尾和彦東海農政局農村振興部長、更屋英洋三重県農林水産部長、柘屋則子三重県農林水産部副部長を始め、県の幹部職員、並びに市町、土地改良区より多数の出席を得て開催しました。

まず、末松則子水土里ネットみえ会長より、我が国の農業農村が農業従事者の高齢化、減少とともに、高齢者のリタイヤ等による農地の荒廃、担い手不足等による農地、農業用水の管理や営農の継続への影響など、多くの課題に直面していると、その対策として土地改良事業が重要である。

土地改良は、地方創生、農業の競争力強化、国土強靱化といった政策課題への対応において重要な役割を果たしており、持続可能な強い農業の実現のためには、水田の大区画化やパイプライン化等の農地整備、適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要で、加えて近年の気候変動による豪雨災害の多発やため池を含む農業水利施設の老朽化が進む中、防災・減災対策も必要であり、これらを含めた土地改良事業の計画的・安定的な実施が必要不可欠である。

また、農業・農村が大きな転換期を迎えている中、第5次男女共同参画基本法計画では、令和7年度に向けて組織体制の強化を図るため、行政と一体となって女性理事の割合を10%以上とする目標を掲げており、本会も昨年4月に「みえ水土里ネット女性の会」を設立し、各地域における様々な状況、課題等を充分認識し女性ならではの新たな視点も取り入れながら皆様の相談役、行政との掛け橋として土地改良事業を通じて「夢ある農村づくり」を推進するので、更なる支援と協力をお願いしたいと挨拶がありました。

引き続き、土地改良功勞者表彰が行われ、土地改良事業の推進に多大なる功績のあった12名の方々(後記1)に表彰状と記念品が贈呈され、お祝いとご功績が称えられました。

その後、廣田副知事、寺尾農村振興部長より来賓祝辞をいただき、その他ご臨席をいただいた来賓の紹介と祝電が披露され、白山町土地改良区の岩崎理事長を議長に選任して議事に入りました。上程された議案(後記2)の

第1号議案から第4号議案については原案どおり承認され、第5号議案 理事・監事の補欠選任については、総会で選任された詮衡委員で詮衡委員会を開催し、推薦された役員が満場一致で選任されました。

最後に、決議文(後記3)を福岡専務理事が朗読し満場一致で採択され、辻村副会長の閉会挨拶で総会は盛会裏に終了しました。



土地改良功勞者表彰を受賞された代表として 総会の様子
賞状を受け取る川島土地改良区 山中理事長



総会の様子



閉会挨拶をする辻村副会長

三重県土地改良事業団体連合会会長表彰

(後記1)

氏名	所属団体	役職名
寺尾 隆 <small>てらお たかし</small>	員弁川用水第二土地改良区	理事
山中 勝彦 <small>やまなか かつひこ</small>	川島土地改良区	理事長
矢橋 和也 <small>やはし かずや</small>	鈴鹿川沿岸土地改良区	事務局長
(故)相馬逸男 <small>そうま いつお</small>	菰野町土地改良区	理事
田中 康章 <small>たなか やすあき</small>	中勢用水土地改良区	理事
山岸 泰平 <small>やまぎし やすひろ</small>	白山町土地改良区	総代

氏名	所属団体	役職名
堀山 正和 <small>ほりやま まさかず</small>	雲出井土地改良区	理事
山岡 清 <small>やまおか きよし</small>	立梅用水土地改良区	監事
村上 守 <small>むらかみ まもる</small>	楠部土地改良区	理事長
辻本 三千男 <small>つじもと みちお</small>	四十九東部土地改良区	理事
中野 博文 <small>なかの ひろふみ</small>	上野土地改良区	理事
奥田 健一 <small>おくだ けんいち</small>	名張市土地改良区	会計担当理事 八幡工区工区長

(後記2)

第66回通常総会提出議案

- 第1号議案 令和3年度事業報告、同一般会計収支決算並びに同財産目録の承認について
- 第2号議案 令和4年度一般会計収支補正予算の承認について
- 第3号議案 定款の変更について
- 第4号議案 令和5年度事業計画、同賦課金の賦課基準並びに徴収方法、同一般会計収支予算、同借入金の限度額並びに借入方法、同預入金融機関及び同役員報酬の議決について
- 第5号議案 理事・監事の補欠選任について

第 66 回総会での決議

(後記3)

決 議

一、農業の成長産業化実現のため、担い手への農地集積・集約化、農地中間管理機構などと連携した水田の大区画化、パイプライン化等の農地整備をはじめとするスマート農業の対応など、地域の状況に即した各種対策の推進

一、農村地域の国土強靱化を図るため、老朽化した農業水利施設の長寿命化や豪雨・耐震化等の防災・減災対策の推進

特に、ため池関連の法律を踏まえた防災重点ため池の適切な管理と計画的な整備の推進

一、中山間地域等の地域の特色を活かした生産基盤整備や生活環境整備の推進

一、農業・農村のもつ多面的機能の維持・発揮を図るため、多面的機能支払制度等の推進

一、改正土地改良法の適切な実施を図るため、公益的な役割を持つ土地改良区の運営基盤強化の推進
特に、燃料価格や農事電力料金の高騰に対する支援の推進

一、右記事業の着実な推進を図るための十分な予算の確保と、農家負担軽減へ向けての一層の取組み

令和五年三月二十二日

三重県土地改良事業団体連合会

第六十六回通常総会

全国水土里ネット 第65回通常総会開催

全国水土里ネット第65回通常総会が、去る3月23日（木）午後1時より東京都千代田区平河町の全国都市会館2階大ホールで開催され、全国の各水土里ネットの代表者及び関係者が出席しました。

本会からは福岡専務理事が出席しました。総会では定款の一部改正、令和4年度一般会計収入支出補正予算、令和5年度事業計画及び一般会計収入支出予算、役員を選任等について議事が提出され、全議案が承認されました。定款の一部変更を受けて、役員改選において女性理事2名を含む19名が選任されました。また、役員互選により二階俊博会長（和歌山県土連会長）が会長に再任されました。

最後に決議文を総会の名において採択し、第65回通常総会が閉会しました。

決議

- 一 土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。
- 二 食料・農業・農村基本法の見直しに当たっては、次の観点に留意して必要な規定を盛り込むとともに、関連する制度や事業・支援の一層の充実を図ること。
 - (一) 農業の競争力強化や、国産農産物の増産による輸入農産物からの置換え等を図っていくため、「農地の区画の拡大」や排水改良による「水田の汎用化」が引き続き重要であること。
 - (二) 農業用水を安定的に確保するため、「農業用排水施設の機能の維持増進」が引き続き重要であり、さらに、頻発する突発事故等を踏まえ、「農業生産の基盤の整備」に加えて、農業生産の基盤の保全管理が重要となっていること。
 - (三) 豪雨災害や大規模地震のリスクを踏まえ、農業・農村の防災・減災対策の強化が重要となっていること。
 - (四) 中山間地域等直接支払のみならず、基本法制定後に法定化された多面的機能支払が、農地・農業用水の維持等を図る上で重要な役割を果たしていること。
 - (五) 農業の生産基盤の整備及び保全管理に関する技術の開発及び普及が重要であること。
 - (六) 土地改良区は、食料生産に不可欠な農地・農業用水の整備・維持管理という公共的役割を果たしており、食料安全保障の強化に向けて、運営体制の強化を図る必要があること。
- 三 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。また、災害対応のデジタル化など、事務手続の効率化等に向けた取組を推進すること。
- 四 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 五 農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進するとともに、燃料価格や電力料金が高騰する状況下においても安定的な用水供給等が可能となるよう対策を推進すること。
- 六 ICT、AI等の先進技術を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進すること。
- 七 主として中小規模の土地改良区を対象とした合併など、土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 八 流域治水の取組推進に当たっては、関係する農業水利施設の管理者や田んぼダムに取り組む農業者に過度な負担や責任が生じないよう配慮すること。
- 九 水田活用の直接支払交付金の見直しに伴う水田の畑地化を進めるに当たっては、現場の実情を踏まえ、引き続き必要な措置を講ずること。
- 十 上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるように配慮すること。

令和五年三月二十三日

全国土地改良事業団体連合会 第六十五回通常総会

全国水土里ネット表彰式開催

通常総会閉会后、場所を東京都千代田区平河町のシェンバツハ・サポーターに移し、第64回全国土地改良功労者表彰式及び農業農村整備優良地区コンクール表彰式が開催されました。

式典では、二階会長の挨拶に続き、勝俣孝明農林水産副大臣、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問（参議院議員）、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問（参議院議員）が来賓を代表して祝辞を述べられました。

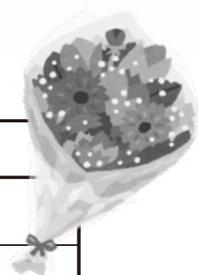
引き続き、表彰状授与に入り、土地改良功労者表彰では66団体、115個人が、農業農村整備優良地区コンクール表彰式では、農業振興部門で9地区、中山間地域等振興部門で7地区が受賞されました。

本県からは団体の部で2団体、個人の部では2名の方が荣誉に輝きました。

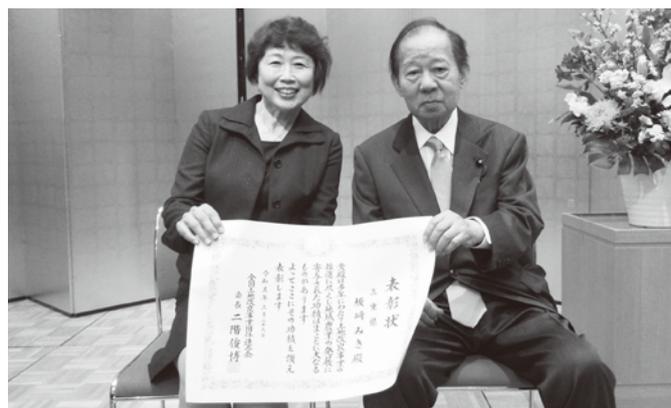
受賞された団体並びに関係者の方々には、あらためて心からお祝い申し上げます。

【県内受賞された団体及び個人】

区	分	受賞団体並びに受賞者
全土連会長賞	団体	しろえの 白江野土地改良区
		いせ ぼくぶ 伊勢北部土地改良区
	個人	みやもと しんじ 宮本 伸二（伊勢北部土地改良区 理事長）
		さかざき 坂崎 みき（四日市南部土地改良区 事務員）



受賞された伊勢北部土地改良区 宮本理事長（左）
全国水土里ネット 二階会長（右）



受賞された四日市南部土地改良区 坂崎事務員（左）
全国水土里ネット 二階会長（右）

全国水土里ネット表彰式



二階会長（前列左より4人目）を囲んでの記念撮影
宮本理事長（前列左より2人目）、坂崎事務員（後列右端）

三重の土地改良アラカルト

土地改良区等電気料金高騰対策緊急支援事業について

【はじめに】

原油価格の上昇に伴う、電気料金の高騰が長期化している状況を踏まえ、農業者の負担軽減を図るため、「令和5年度土地改良区等電気料金高騰対策緊急支援事業」を実施し、土地改良区等が管理する用排水機場等の農業水利施設の操作・運転に必要な電気料金の高騰分の支援を行います。

【支援事業の内容】

1. 対象

<対象施設>

国営、県営土地改良事業で造成した農業水利施設
 国、県の補助を受けて造成した農業水利施設

<対象者>

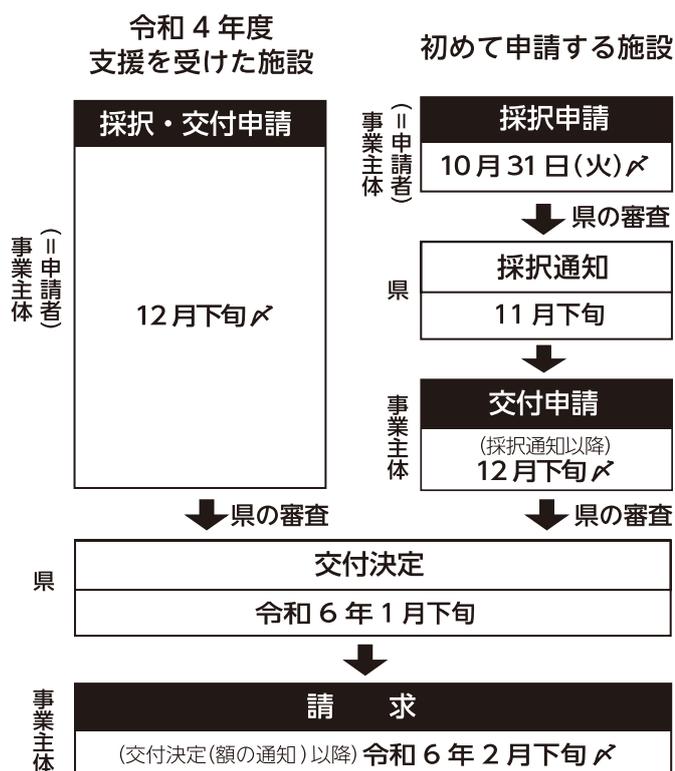
上記施設を管理する土地改良区等
 ・土地改良区、土地改良区連合
 ・複数の農業者が利用する農業水利施設を管理する農業者が構成員となる水利組合等の団体（定款や規約を定めている団体が対象）

2. 支援内容

<支援額>

令和5年4月から9月分の使用電力量
 × 補助単価6.38円/kWh × 1/2以内

3. 事業の流れ



【申請について】

<採択申請書提出期限>

令和5年10月31日(火)まで ※当日消印有効

<提出先>

三重県農林水産部農業基盤整備課

<提出方法>

・郵送または持参
 〒514-8570 津市広明町13番地(県庁6階)

・メール nokiban@pref.mie.lg.jp

・FAX 059-224-3153

※1週間以内に受領のご連絡をします。

1週間経っても連絡がない場合は、問い合わせ先へお電話をお願いします。

【問い合わせ】

三重県農林水産部 農業基盤整備課
 農業基盤企画班まで

・TEL:059-224-2556

三重県

令和5年度 土地改良区等電気料金高騰対策緊急支援事業

用排水機場等の農業水利施設の操作・運転に必要な
電気料金の高騰分を支援します

対象施設	1. 国営または県営土地改良事業で造成した農業水利施設 2. 国または県から補助を受けて造成した農業水利施設
対象者	上記施設を管理する土地改良区等の団体 (土地改良区、土地改良区連合のほか、定款や規約を定めている農業水利施設を管理する農業者が構成員の水利組合等の団体)
支援内容	令和5年4月から令和5年9月分の 使用電力量×6.38円/kWh×1/2以内

申請期限 | 令和5年10月31日(火) ※消印有効

※写真はイメージです

＼問い合わせ／

三重県農林水産部農業基盤整備課
 電話:059-224-2556
 ファクス:059-224-3153
 メール:nokiban@pref.mie.lg.jp

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

多面に輝く人たち

県内各地でご活躍の皆さまを「多面に輝く人たち」と題して、スポットをあてご紹介します。
 今回は、鈴鹿市深伊沢地域で「深溝水土里を守る会」に取り組まれている今村さんと伊勢市東大淀地域で「東大淀(ひがしおいず)を守る会」の活動を支える西村さんと村井さんをご紹介します。

深溝水土里を守る会 (鈴鹿市)



今村 あおいさん
【事務員】

多面的の活動に参加したきっかけはなんですか？

前任の方が、辞められる時に声をかけていただき、それがきっかけで、活動に参加しています。それまでは、多面的組織の存在を知りませんでした。

組織の中では、どのような役割を担っていますか？

多面的に携わり11年目、事務資料の作成や活動写真の撮影を行っています。

多面的の活動に参加してよかったと感じる点はなんですか？

年齢問わず地域のつながりを感じる時です。また草刈りをして綺麗になったといわれると嬉しくなります。

INFORMATION

深溝水土里を守る会

対象農用地面積150ha以上の多面的の活動組織。農業用施設の維持管理や遊休農地を活用し、地域の活性化に取り組むなど、幅広く多面的機能支払交付金の活動に取り組んでいます。

今村さんが活動に加わることで組織の中で変化したことはありますか。

子供たちとの活動を増やしたいと思っていたので、PTAに構成団体に入っていました。その結果、非農家のお母さんたちも活動に参加していただき組織の活性化につながりました。



活動の中で、力をいれていることを教えてください。

遊休農地の有効活用に力を入れています。これまでに、コスモスの植栽、レンコンの収穫体験やもち米を作付けし、地域の小学校で餅つきもしました。また、遊休農地ででた稲わらを使い、深伊沢地域まちづくり協議会さんとわらアートを作り、地域の人に喜んでいただいています。今年は高さ5mのふくろうに挑戦します！



ひがしおいず

東大淀を守る会（伊勢市）

村井千代子さん
【EM部の副部長】



西村富子さん
【EM部の部長43名の取りまとめ役！】

EM部とは？＝東大淀を守る会の女性部の名称

活動にかかわったきっかけは？

友達に誘われて気軽に参加できるEM液づくりに参加。自分の小さな力でも役に立つなら！と自分の意志で加入しました。

活動で大切にしていることは？

EM部は女性で構成されており、家庭を持ってみえる方がほとんどなので、家のことをしてから参加できる時間帯にするなど配慮しています。

活動に女性が加わることで組織に起きた変化は？

男性、女性がそれぞれの特性を生かしながら、共に考え協力し合う体制ができました。



手作りのEM石鹸

INFORMATION

東大淀を守る会

農地維持活動に加え、EM液の水路放流による水質浄化活動や、芝桜・藤袴の植栽管理、近隣学校との連携など地域一体となり多方面に取り組んでいます。

活動をしていて「よかった!」と感じるのはどんな時？

共通の目標に向かって、共に作業する機会が増えたことで、組織内のコミュニケーションが増え、お互いの作業に対し「ご苦労さん」と自分を認めてもらうような声を聞く機会が増えた時。更なる活動への意欲につながっています。

世代や性別が異なる方と交流する機会が増え、人とのつながりに幅が出てとても新鮮です！



水質浄化のためにEM液放流

今後の目標は？

アサキマグラの飛来を夢見て藤袴の植栽に取り組んできましたが、東大淀の環境での育成は難しいと感じたため、今後の展開についてみんなで考えていきます！

多面的に取り組むみなさんに一言!

後継者づくりが課題ですが、先のことも考えながら無理のない範囲で楽しく活動することが大切です！



こちら「ため池保全サポートセンターみえ」です

令和2年7月に「ため池保全サポートセンターみえ」が設立されてから3年が経過しようとしています。

地震や豪雨等に起因した農業用ため池の決壊による周辺地域への水害等の被害を未然に防止するためには、日常におけるため池の適正な保全・管理が必要不可欠です。このため県内の農業用ため池を管理されている方が、適正にため池の保全・管理を行っていただくことができるよう、水土里ネットみえ（三重県土地改良事業団体連合会）に設置した専門スタッフによる相談対応や現場指導等、ため池管理者や市町担当者への様々な支援を行っています。

本年度もこれから台風シーズンを迎えることから、本稿ではこれまで紹介した中から日常の管理において十分に徹底していただきたい重要事項をいくつか掲載したいと思います。

【堤体の草刈り】

私たちが行う現地パトロールで最も重要視するのが「堤体の異常の有無」です。パトロールでは、堤体の法面・法尻に漏水や崩落、陥没等の異常が無いかを現地において確認するのですが、現地が草木等で覆い被さっている状態であると、異常があっても発見することが難しく見逃してしまう恐れがあります。また、堤体をイノシシによって掘り起こされる事例がありますが、用心深いイノシシは草が刈られていると身を隠すスペースがないため近づかないとされています。

こういったことから、ため池堤体の草刈りは日常管理



「草刈りされていない池」



「草刈りされている池」

の上で最も重要な事項の1つだと考えていますので、重労働となり大変ではありますが、よろしくお願いします。

【安全柵や注意喚起看板の設置】

毎年のように全国において、農業用ため池での転落死亡事故の発生が絶えません。このような痛ましい事故を防ぐためには、安全柵や注意看板が有効になりますので、未設置あるいは施設が破損している池については、対策を講じていただく必要があります。なお、安全対策などの管理に不備があった場合には、ため池管理者の責任を問われることもありますので、十分に注意し対応をお願いします。



「安全柵」と「注意看板」が設置されている池



【管理体制表・緊急連絡網の作成・更新】

緊急時には迅速な連絡・報告が求められますので、必ず作成・更新をお願いします。

【不要なため池の廃止】

上記のような問題を発生させないために、使用しておらず今後も使用する見込みがない農業用ため池については、廃止することを積極的に検討していただくようお願いします。

なお、防災重点農業用ため池の廃止については、地元負担なしで実施できる場合がありますので、詳細はサポートセンターまで問い合わせください。

ため池保全サポートセンターみえ

相談窓口

月曜 AM・木曜 AM

TEL.059-224-3555 FAX.059-225-7332

〒514-0006 津市広明町 330 番地
三重県土地改良会館 4階

新たな農業への取り組み事例

低コストで省力的安定生産ができる伊勢茶スマート営農体系の確立（亀山市）

茶

取組主体：伊勢茶スマート栽培推進協議会 取組期間：令和2年～
キーワード：営農管理ツール、センシング

1 産地の概要

<産地の現状・課題>

- ・生産者が減少し、担い手への茶園集積が進んだことで経営規模拡大・販売を強化するため、複数の生産者が実需者と連携し、産地における GAP 認証を取得
- ・現状、防除や摘採、かん水などの茶園管理の要否やタイミングは、茶園巡回による生産者の経験や勘に基づき決定しており、大規模化に伴って巡回に労力と時間を要する。
- ・センシングによるデータを活用した最適な作業の判断が必要
- ・生産履歴は各自が各々の作業日誌を活用しており、営農管理ツールを活用したデジタル化による作業管理労力の削減が必要
- ・また、生産履歴等電子データの実需者との共有及び分析への活用

2 取組体制

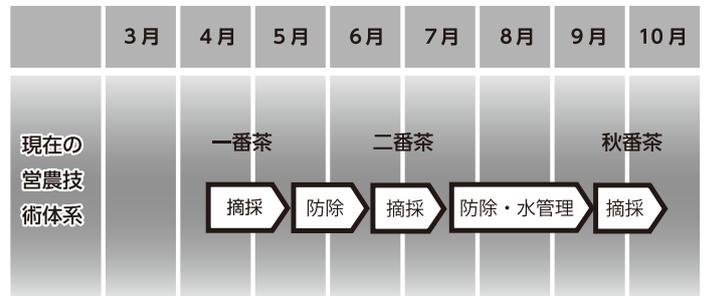
<構成員と役割>

- ・生産者（役割：実証圃設置、圃場管理、効果検証）
- ・JA 鈴鹿（役割：実証支援）
- ・カワサキ機工株式会社（役割：ドローンによるセンシング導入支援）
- ・株式会社または茶業（営農記録ツール実証）
- ・市、県（亀山市、中央農業改良普及センター、農業研究所、農産園芸課）（役割：事業実施への助言、全体運営、連絡調整）

3 新たな営農技術体系の確立に向けて

<目指す産地像>

センシングや営農管理ツール等を活用し、防除時期判断のための見まわり作業や、記帳及び実需者との共有作業を省力化した産地



- ①センシングツールの導入
- ②営農管理ツールの導入



<新たな営農技術体系の効果（検証結果）>

- ・定点カメラによる生育状況のセンシングデータに基づき、最適な作業計画を立てることが可能
- ・営農管理ツールを用いた記帳は、入力に約3分かかり手書きと同程度の時間を要したが、栽培履歴データの検索や分析、実需者との共有作業の簡素化が可能



センシングツール現地検証の様子



圃場に設置したセンサー

問い合わせ先：

中央農業改良普及センター 茶普及課
TEL：0598-42-6707



～ふるさとの水と土に感謝して～
第27回 大師の里・彦左衛門のあじさいまつり
 が開催されました

協賛：多気町、水土里ネット立梅用水、多気町勢和地域資源保全・活用協議会

去る6月11日（日）に水銀と弘法大師「空海」ゆかりの地「丹生大師の里」で、周囲を流れる立梅用水を（水）・周辺の田んぼを（土）・1万本以上のあじさいが咲乱れる緑豊かな資源空間の（里）を祭りの舞台とした「水土里の祭典」『第27回大師の里・彦左衛門のあじさいまつり』が4年ぶりに開催されました。

終日この時期らしい梅雨空でありましたが、町内外から約2,500人の来場者は雨に映える色鮮やかに咲き誇った色とりどりのアジサイを眺めながら、散策を楽しみました。

オープニングセレモニー後に各会場では、田んぼの綱引き、田んぼのコンサート、生き物観察会など様々な催しが繰り広げられ、終日賑わっていました。

広い会場には40余りの出展ブースが設けられ、来場者は各ブースに立ち寄りながら散策を楽しんでいました。特に国登録記念物・世界かんがい施設遺産となった立梅用水路の「ボート下り」は大人気で、開始前から長蛇の列が



奮闘する「水土里ネットみえつなひき隊」



「水土里ネットみえつなひき隊」精鋭6人衆

できていました。

我が水土里ネットみえも会場入口付近にブースを設け、会場内の散策道沿いにポイントを設置し、そこで各自スタンプを押すことにより、本会の愛称「みどりねっとみえ」を完成させる「あじさいの小径スタンプラリー」で祭りを盛り上げました。

小雨のなか750人余りの家族連れやグループが参加し、あじさいを眺めながら散策を楽しみ、指定されたポイント箇所を回り、「水土里ネットみえ」の愛称を覚えてもらいました。ゴール後、参加者にはもれなく花の苗がプレゼントされ、眼を凝らしながら色とりどりの苗を選び、満足そうにブースを後にしました。

また、恒例の「田んぼの綱引き大会」では、20チームがエントリーし、トーナメント方式で戦いに臨みました。会場となった田んぼの周りは、大勢の観客で賑わい、各試合全身泥まみれになりながら、持てる力を振り絞り、熱戦が繰り広げられ、応援する側も力が入り、大いに盛り上がっていました。

我が「水土里ネットみえつなひき隊」も上位を狙うと強い意気込みで臨みましたが、初戦では勝利したものの、準決勝進出を掛けた試合では惜しくも敗れました。それでも田んぼの周りの観客からは惜しめない拍手で健闘を称えられていました。



スタンプラリーにチャレンジする来場者



スタンプを押す参加者



スタンプを押す参加者



花の苗を選ぶ参加者

事務局だよ！

第20回 『みえの農村風景』写真コンテスト

1. 目的

みえの農村にスポットをあてた写真を募集して、農業・農村に対する関心を高めていただき、さらに広報冊子、その他の広報資料にこの写真の活用を目的として実施します。

2. 応募要項

「農村地域の風景」、「美しい田んぼ・畑の風景」、「農作業風景」、「農村地域の正月風景」、「農村の歴史と伝統がある祭りやイベントの様子」、「農業用施設が農業生産活動等に広く利活用されている情景」、「農村公園・親水公園を中心に地域住民とのふれあいを感じさせる情景」の写真。三重県内で撮影された未発表で著作権のないもの及びその予定のないもの。(ただし、令和3年以降に撮影されたものとする。)

カラープリントのキャビネ版(2L版可)以上の単写真。(デジタルカメラ可)

- ・応募は一人3点以内とします。
- ・入賞は一人1点とします。
- ・応募作品は返却いたしません。
- ・作品1点につき応募票を添付のこと。(記入漏れ・応募票のないものは無効とします。)
- ・テーマと明らかに逸脱する作品や題材に準じていない作品は審査対象からのぞきます。
- ・応募作品の使用権は水土里ネットみえ(三重県土地改良事業団体連合会)に帰属するものとします。
- ・応募作品は水土里ネットみえの広報写真として活用させていただきますのでネガ等の提示をお願いすることもあります。
- ・応募用紙にご記入いただきましたデータは、個人情報保護基本方針に基づき厳重に管理いたします。

3. 審査及び表彰

審査委員会を設け厳選し、入賞者については令和6年2月中旬ごろ直接本人に通知いたします。また、「みえの土地改良」に掲載いたします。

4. 賞

- ・最優秀賞 1点 副賞(賞金5万円)・優秀賞 2点 副賞(賞金2万円)
- ・特別賞 4点 副賞(賞金5千円)・伊勢新聞賞 1点 副賞(商品図書券) 予定

5. 応募締切

令和5年12月8日(金)当日消印有効

6. 応募方法

応募票を作品の裏面に貼り、下記あてに送付して下さい。

〒514-0006 三重県津市広明町330番地

三重県土地改良事業団体連合会 総務部企画総務課 まで TEL:059-226-4824

7. 主催者

水土里ネットみえ

8. 後援

三重県、伊勢新聞社



応募票	(ふりがな) タイトル			
	撮影年月	年	月	撮影場所
	(ふりがな) 名前			年齢
				歳
	住所	〒		
	電話			

令和5年度

三重県土地改良事業団体連合会採用試験案内

(令和6年4月採用予定)

1 採用予定人員及び受験資格

採用予定人員	受 験 資 格		
	学 歴 等	生 年 月 日	そ の 他
若干名	学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)を卒業した者及び令和6年3月31日までに大学を卒業する見込みの者	平成6年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた人	職員人事規程第7条(欠格事項)に該当する人は、受験できません※1

※1 職員人事規程第7条

- (1) 成年被後見人及び被保佐人
- (2) 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (3) 国及び地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- (4) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又は政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

2 職 種 内 容

職 種	職 務 内 容
①事務職(若干名)	・総務、経理、事務全般
②技術職(若干名)	・施設機械(ポンプ、ゲート等)の操作、メンテナンスに関する業務 ・土地改良事業(農業農村整備事業)に関する調査、計画、測量、設計、施工管理等の業務

3 受験手続き及び日程

(1) 受験手続

受験希望者は、次の書類を三重県土地改良事業団体連合会総務部企画総務課へ提出して下さい。

ア 履歴書(写真貼付)…… 1通

イ 卒業(見込)証明書・成績証明書又は単位取得証明書…… 1通

ウ 封筒(宛先欄に受験者の住所及び氏名を記入した返信用封筒で84円切手を貼付したもの)…… 1通

(2) 日 程

採用試験は、3回実施します。(採用が決まり次第、受付を終了します)

受付期間	第1次試験	第2次試験	最終合格発表
【1回目】 6月1日(木)～ 6月30日(金)	7月24日(月) 午後1時30分	8月中旬	9月上旬
【2回目】 8月1日(火)～ 8月25日(金)	9月4日(月) 午後1時30分	9月下旬	10月上旬
【3回目】 10月2日(月)～ 10月27日(金)	11月6日(月) 午後1時30分	11月下旬	12月上旬

- ・受付は、土曜日、日曜日、祝日を除く、午前8時30分から午後5時までとします。(郵送受付可)
受付後の応募書類は、一切返却しません。
なお、履歴書等による書類選考を行う場合があります。
 - ・試験会場は、第1次・第2次試験とも津市広明町330番地三重県土地改良会館で実施します。
 - ・試験結果は、第1次・第2次試験とも受験者全員に書面で通知します。
 - ・第2次試験日は、第1次試験結果発表の際に通知します。
- ※日程等については、新型コロナウイルス感染症の影響で変更する場合もあるので、事前にお問い合わせください。

4 試験科目及び内容

区 分	試 験 科 目	試 験 の 内 容
第1次試験	一般適応試験	「知的能力」「態度能力」を診断するため、一般知識及び能力についての択一式による筆記試験
	作 文	「今後の日本の農業・農村」について、原稿用紙2枚以内(800字以内)にまとめる
第2次試験	口 述 試 験	理解力や表現力及び職場適応性等について、個別面接により行う

5 合格から採用まで

最終合格者については、令和6年4月1日に採用します。

6 給与、勤務場所、勤務時間及び休暇

- (1)三重県土地改良事業団体連合会「職員給与支給規程」に基づく給料及び扶養手当、住居手当、通勤手当、資格手当、期末・勤勉手当等が支給されます。大卒初任給は、おおむね190,900円であり、職務経験のある者は、経験年数に応じ加算支給します。
- (2)勤務場所は、津市広明町330番地にある三重県土地改良会館で、近鉄津駅から徒歩5分のところで、転勤はありません。
- (3)勤務時間は、8時30分から17時15分までの8時間(月曜日～金曜日)です。
- (4)年次有給休暇は、1年につき20日あり、この他に特別有給休暇等があります。

7 その他

- (1)この試験の詳細についての問い合わせは、下記までご連絡下さい。
- (2)会館訪問、職場見学は、随時受け付けておりますので、ご希望の方はご連絡下さい。

【連絡先】

三重県土地改良事業団体連合会 総務部 企画総務課
担当者：田端、山口 TEL 059-226-4824

- (3)土地改良事業団体連合会は、土地改良法により設立が認められている「公法人」で、全国47都道府県にあり、三重県土地改良事業団体連合会は、昭和32年12月11日に農林大臣の設立認可を受け設立されています。



みどり
水土里ネットみえ機構図 (三重県土地改良事業団体連合会)

事務局

事務局長 中村浩也

業務推進室 (3F) TEL:059-226-4824

室長(事務取扱) 中村浩也
 専門員(兼務) 瀧川正之
 専門員(兼務) 宮崎敏弘
 専門員(兼務) 松島晴義

総務部 (3F) TEL:059-226-4824

部長 田端幹生

企画総務課

課長 山口剛久
 課長代理 加藤 巖
 専門員(兼務) 庄村晃一
 専門員 山田浩子
 専門員(嘱託) 廣瀬有司
 主事 内田実来

財務会計室

室長(事務取扱) 中村浩也
 主任 高沖恭臣
 主事(兼務) 内田実来

業務推進室

- ・事業相談及び情報提供

企画総務課

- ・企画及び組織運営
- ・土地改良区運営の研修、組織運営基盤の強化、相談業務
- ・土地改良事業に関する情報提供および広報活動

財務会計室

- ・会計管理

**事業部 (2F) TEL:059-226-4825
 (4F) TEL:059-226-4829**

部長(事務取扱) 中村浩也

農村整備課 (2F)

課長 坪井浩晃
 課長代理 松島晴義
 副調整監 前田靖彦
 課長補佐 奥山ゆかり
 課長補佐 亀井智広
 主幹 玉置 健
 主査 石川達人
 専門員 瀧川正之
 専門員 庄村晃一
 専門員 中野重春
 専門員(嘱託) 佐藤幸宏
 専門員(嘱託) 山川 哲
 専門員(嘱託) 稲垣克哉
 主任 内山雅仁
 主任 津村太一
 主任 澤田拓郎
 主任 谷川英司
 技師 古川真由子
 主事 蒔田安奈
 技師 中村周平
 主事 鈴木 空

農村整備課

- ・団体営調査設計事業の推進指導及び実施業務
- ・かんがい排水関係の技術管理援助業務
- ・農業競争力関係の技術的援助業務
- ・諸土地改良関係の技術的援助業務
- ・災害復旧事業の技術的援助及び応援技術者に関する業務
- ・水土里情報利活用促進事業に関する業務
- ・農業集落排水事業に関する調査・測量・設計業務
- ・農道整備関係の技術的援助に関する業務
- ・中山間総合整備関係の技術的援助に関する業務
- ・換地計画作成及び換地処分登記に関する業務
- ・土地改良事業における測量業務
- ・三重県農地・水・環境保全向上対策協議会事務局
- ・三重県農道管理協議会、三重県農業集落排水事業連絡協議会
- ・三重県農村災害ボランティア団体の事務局

ため池整備課 (4F)

課長 伊藤雅敏
 主査 大北浩史
 専門員 西村四郎
 専門員 今井充孝
 主任 平岡 駿
 主任 出口大聖
 技師 川口凌矢
 技師 小野敦暉

ため池整備課

- ・ため池整備関係の技術援助業務
- ・災害復旧事業の技術的援助及び応援技術者に関する業務

ため池サポートセンター室 (4F)

室長(事務取扱) 伊藤雅敏
 主査(兼務) 大北浩史
 専門員 本田浩和
 主任(兼務) 出口大聖
 技師(兼務) 川口凌矢

ため池サポートセンター室

- ・ため池管理者に対し、ため池の適正な保全のための啓発並びに災害発生 of 未然防止を図るための技術的支援業務

〔ため池保全サポートセンターみえ〕
 TEL.059-224-3555
 三重県より駐在 玉津智広

施設管理課 (4F)

課長 奥山佳章
 課長補佐 宮尻頼明
 上席専門員 上島康史
 専門員 森永秀樹
 専門員 宮崎敏弘
 専門員 岡 秀樹
 主任 宇田朋央
 主任 神田幹也

施設管理課

- ・基幹水利施設の管理技術者育成支援に関する業務
- ・土地改良施設の維持・管理及び技術指導に関する業務
- ・土地改良施設の整備補修工事に関する業務
- ・土地改良施設維持管理適正化事業に関する業務
- ・土地改良施設診断業務
- ・災害復旧事業の技術的援助及び応援技術者に関する業務
- ・三重県農業用水小水力発電推進協議会の事務局

令和5年度『みえの土地改良』編集委員名簿

所 属	役 職	氏 名
農地調整課 農地班	副参事兼班長	南 出 房 洋
農業基盤整備課 農業基盤企画班	副課長兼班長	梅 村 竜 也
農業基盤整備課 農地防災班	班 長	浮 田 修
農業基盤整備課 国営調整水利班	班 長	中 瀬 勝 博
農山漁村づくり課 農地水保全班	課長補佐兼班長	磯 部 幸 司
農山漁村づくり課 農村環境づくり班	班 長	原 貴 子
農山漁村づくり課 農山漁村活性化班	副参事兼班長	片 岡 文 男
三重県土地改良事業団体連合会	専務理事	福 岡 重 栄
三重県土地改良事業団体連合会	事務局長	中 村 浩 也
三重県土地改良事業団体連合会	総務部長	田 端 幹 生
事務局 三重県土地改良事業団体連合会	総務部 企画総務課	山 口 剛 久
事務局 三重県土地改良事業団体連合会	総務部 企画総務課	廣 瀬 有 司

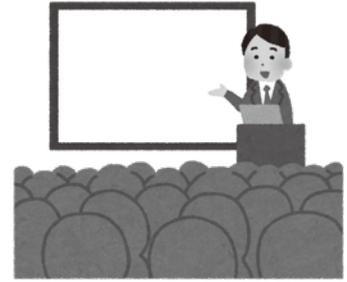
水土里ネットの役職員を対象とした研修会のご案内（予定）

○令和5年度 水土里ネット役職員研修会

日時：令和5年8月10日（木）
場所：三重県総合文化センター

○令和5年度 統合整備推進研修（会計研修）

日時：令和5年11月21日（火）、22日（水）
※21日（火）は、単式簿記を採用した土地改良区対象
※22日（水）は、複式簿記を採用した土地改良区対象
場所：メッセウイングみえ



第45回全国土地改良大会 福井大会が開催されます



大会ポスター

令和5年10月11日（水）、福井県越前市において、「第45回全国土地改良大会福井大会」が『「水土里」がある「幸福」がある「笑顔」がある～ふくいで語る土地改良の未来～』をテーマに下記日程で開催されます。



○大会式典

令和5年10月11日（水）13:00～16:20
（サンドーム福井：越前市瓜生町5-1-1）

○交歓会

令和5年10月11日（水）17:30～19:00
（福井県産業会館：福井市下六条町103）

○事業視察

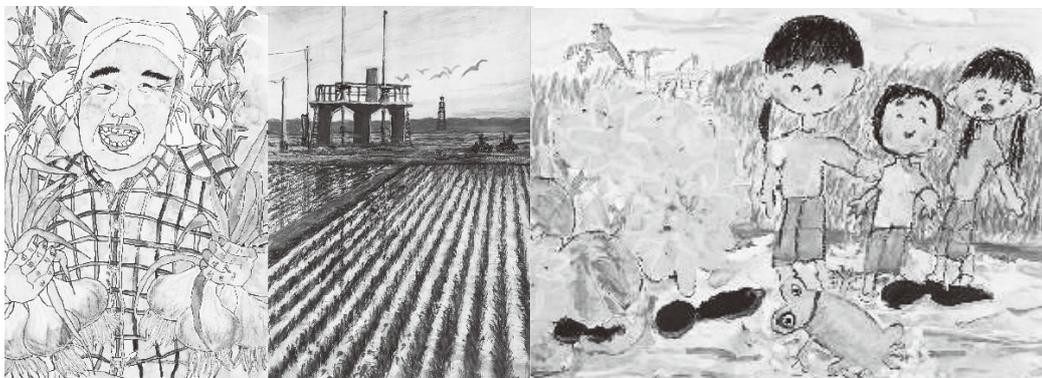
令和5年10月12日（木）～13日（金）
（日帰り4コース、1泊2日2コースの予定）

水土里ネットふくい HP <https://www.midorinet-fukui.jp/>



未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展 2023

あなたの絵で農業や農村、はたらく人、大切な水路を守る人のすがたを伝えてください。
受賞作品は、12月5日（火）～11日（月）に東京都美術館において展示します。



- 応募資格／小学生以下 応募期間 2023年7月20日（木）～9月8日（金）
- 各賞／農林水産大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞、全国水土里ネット会長賞、企業等協賛賞多数 ※副賞あり
- 主催／全国水土里ネット、都道府県水土里ネット

全国水土里ネット HP をご覧ください <https://www.inakajin.or.jp>

詳しくは、お問い合わせは全国水土里ネット土地改良広報センターへ TEL 03-3234-5480（野口、細谷）



夢ある農村づくり

みどり
水土里ネット みえ

三重県土地改良事業団体連合会

〒514-0006 津市広明町330番地

FAX.059-225-7332

URL <http://www.miedoren.or.jp>

業務推進室 (3F)

TEL.059-226-4824

総務部 (3F)

企画総務課

財務会計室

TEL.059-226-4824

事業部 (2F・4F)

農村整備課 (2F)

TEL.059-226-4825

ため池整備課 (4F)

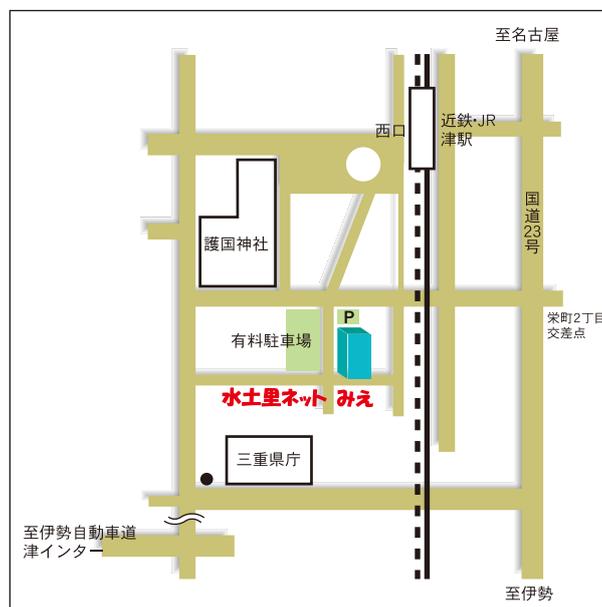
TEL.059-226-4829

ため池サポートセンター室

TEL.059-224-3555

施設管理課 (4F)

TEL.059-226-4829



近鉄・JR …… 津駅西口より徒歩5分

自動車 …… 伊勢自動車道 津インターより10分



環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。